

KS(川崎・専修)ソーシャル・ビジネス・アカデミー

10月開講へ講演と説明会



▲ 日高学長(左)と阿部川崎市長



▲ 講演会には100人を超える参加者があった

専修大学は川崎市と共同運営で、ソーシャル・ビジネスの人材を育てる社会人向け大学院特別教育プログラム「KS(川崎・専修)ソーシャル・ビジネス・アカデミー」(以下「KSソーシャル・ビジネス・アカデミー」)を10月に開講する。

開講に先立ち7月28日、日高義博学長・理事長とKSソーシャル・ビジネス・アカデミー長の徳田賢二経済学部教授らが阿部孝夫川崎市市長を訪問、川崎市からの協力を謝意を表した。

また、同30日にはソーシャル・ビジネスを分かりやすく理解するための公開講座「市民のためのソーシャル・ビジネス入門」と募集説明会が生田キャンパスで開催され、100人を超える参加があった。

特別講師として、日本理化学工業株式会社の山泰弘会長が「知的障害者に導かれた経営から地域社会発展への提言」と題して講演。国内30%のシェアを持つダストレスチョークメーカーの同社は、知的障がい者の雇用を促進、それぞれの能力を十分発揮できるように、作業方法を工夫、改善している。

大山会長は「国民が必要とされて働くことができる共生社会の実現を目指したい」と語った。

さらに昨年まで開かれていた、都市型コミュニティ・ビジネスのリーダーを育成する本学の「KS(川崎・専修)コミュニティ・ビジネス・アカデミー」第2期修了生2人(真野毅・兵庫県豊岡市副市長と等原泰子(株)さくら丘管理者・生活相談員)が、同アカデミー受講によるソーシャル・ビジネスへの展開例を講演した。

日高学長ら阿部川崎市長訪問



▲ かわさきFM実況中継に出演するワンセグチーム

福富・藤原両研究室

8月28日、川崎市で行われた同市の総合防災訓練に、ネットワーク情報学部の福富忠和・藤原正仁両研究室が参加。「かわさきワンセグ」による音声と映像の配信にチャレンジした。

会場は川崎市二ヶ領せせらぎ館付近の多摩川河川敷と川崎市立稲田中学校の2カ所。

稲田中での体験型訓練には、ボランティアサークルSKV(専修神田ボランティア)の学生が多数参加、地域貢献を果たした。

川崎市の総合防災訓練を生中継 『かわさきワンセグ』本格始動

『かわさきワンセグ』本格始動

と連携、ワンセグとFM2元生中継。学生が臨機で実況放送された。

会場でワンセグの受信方法の説明、涉外や番組構成にあたった青木拓也さん(3年次)は「配信を通じて、多くの方にワンセグの良さを知ってもらいたい」と、またアナウンサーを務めたプロジエクトリーダーの鈴木康平さん(同)は「災害時にワンセグ放送が役立つ事例がある。配信体制を早く確立したい」と意気込みを示した。

福富教授は「現場の訓練状況を解説するのが本日の配信の基本の仕事。必要な情報配信を省くことができないよう指示した」と語り、ディレクターを務めた藤原講師は「初の

SKVは体験型訓練に参加

当日は、福富・藤原両研究室の学生8人と技術サポート3人(富士通)のワンセグチームが河川敷近くに中継局を設置、稲田中と中継で結び、約3時間にわたり体験型訓練の様子を生中継した。また、コミュニティFM「かわさきFM」の番組



▲ 生中継の様子がスマートフォンに受信された

9月からは、かわさきFMと連携し放送番組をスタートする。

毎週火曜日午前11時10分~25分「かわさきワンセグ キャンパスライブ」(同8時から「かわさきDUSTREAM」のワンコーナー)で、毎回学生や教員、同地域の明治大、日本女子大の教員、方法、トイレ組み立て、消火器訓練、三角巾の使い方を学んだ。村田梨恵さん(法4)は「初期消火やトイレの組み立てなど、周囲の人との協力が重要な訓練まで幅広く体験できた」と語った。

福富・藤原両研究室は本年4月に「総務省ホワイトスペース特区」の決定を受け、生田キャンパスに基地局を置きワンセグコミュニケーションティ放送を開始した。今回の配信は、災害時に威力を発揮するワンセグ放送の可能性を試みるものとなった。



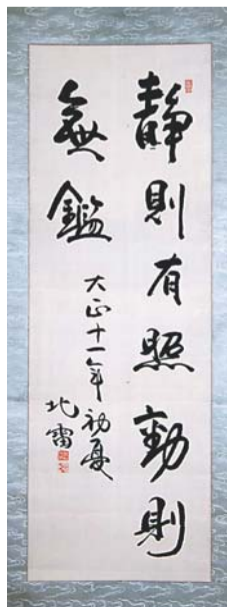
▲ 稲田中での体験型訓練に参加するSKVメンバー(左が村田さん)

学生らを招いて15分の番組を構成、かわさきFM(音声のみ)、かわさきワンセグ(音声と映像)で同時に生放送を行う。学内の教室をスタジオとして使用するほか、キャンパスの様子などを中継放送する。

生田キャンパス2号館から300~400級のエリアで受信可能。受信エリアは順次広がっていく。

専修大学創立者の一人 経済・財政学者など幅広い活躍

「田尻稲次郎展」11月に鹿児島市で



▲ 田尻稲次郎書(黎明館所蔵)

同会場期間中の12月3日には講演会、同18日にはシンポジウムを開催。両日とも専修大学創立130周年記念映画「学校をつくろう」を上映する。

18日には日高義博理事長・学長に加え、同映画の監督、神山征二郎さん、田尻役の池上リョーマさんが舞台挨拶をする予定。

※同日ともギャラリートークの開催も
※問い合わせは大学史料課 ☎03(32665)5879

田尻稲次郎(1850~1923)は、明治から大正にかけて、大蔵官僚として、また経済・財政学者として輝かしい実績を残した。本企画展では、経済・財政学者、教育者、会計検査院長、東京市長など、さまざまな顔を持つ田尻の人物像や松方正義ら薩摩人とのつながりなどを紹介する。

【講演会・シンポ・映画上映も】
同会場期間中の12月3日(土) 12月18日(日)
【シンポジウム】
▽期日 12月18日(日)
▽パネリスト 青木美智男・専修大学史編集主幹・元文学部教授、徳永和喜・黎明館学芸課長、永江雅和・専修大学経済学部教授
※同日ともギャラリートークの開催も
※問い合わせは大学史料課 ☎03(32665)5879



▲ 田尻稲次郎の肖像

専修大学の創立者の一人である田尻稲次郎の業績を追う「鹿児島県歴史資料センター黎明館と専修大学の合同企画展 田尻稲次郎の生涯」が、11月に田尻ゆかりの鹿児島市で開催される。

田尻は、薩摩藩士・田尻次兵衛の三男として生まれ、薩摩藩の開成所や大学南校(現東京大学)などを経て渡米。エール大学、同大学院で経済学を学び、帰国後は大蔵官僚として財政・金融制度の確立に尽力した。

明治13(1880)年には相馬永胤、目賀田種太郎、駒井重格とともに専修学校(現・専修大学)を創立。専修学校のほか、現在の東京大学、一橋大学、早稲田大学などでも講義を行った。

【企画展】
▽日時 2011年11月22日(火)~2012年1月9日(月)
▽会場 鹿児島県歴史資料センター黎明館 鹿児島市城山町7-2 ☎099(222)5100
▽休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、11月25日(金)、12月31日~1月2日。
▽入館料 常設展示観覧料として一般300円、高・大学生190円、小・中学生120円

一三二一専修

専修大学 ホームページ
http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行 (定価一部90円) 発行所 専修大学広報課
〒101-8425 東京都千代田区東神田3-8-8 ☎03-3265-5819(直)

主なニュース

商学研究がベトナム・国民経済大学ビジネススクールと組織間協定
第53回育友会支部懇談会―被災地区では修学支援相談会………4
特集・大震災「石巻ボランティア」………6
石巻専修大学 経営学部の石原・山崎ゼミ生が地域復興に貢献………7
北海道短大 学生部主催バスツアーで函館・小樽を探訪………8
新連載コラム・拡大版「外国語のススめ」L「研究室」………10

学校をつくろう

創立者4人の青春物語
上映情報はホームページをご覧ください

台風12号により被災された学生の皆さまへ

このたびの台風12号により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。本学は自然災害による被災世帯学生に対し、経済的支援を講じています。また、日本学生支援機構奨学金(緊急・応急)の申請も受け付けます。該当する方は左記まで連絡をお願いいたします。

▽一部学生 学生生活課▽二部学生 二部事務課▽大学院生 大学院事務課▽法科大学院 院生 法科大学院事務課 (学生生活課)